



第五小だより 1月号

学校教育目標
心豊かな子ども
進んで学ぶ子ども
たくましい子ども
地域を愛する子ども

令和4年1月11日 第9号 <http://5sho.wako-city.ed.jp/>
〒351-0104 和光市南1-5-10 TEL 048-463-3100 児童数 685名



自分の良さを 最大限に伸ばす1年に

校長 来嶋 実樹子



本校 H.P.

新年明けましておめでとうございます。大きな事故等もなく、3学期を迎えることができましたことは、保護者の皆様や地域の皆様に温かく見守っていただけたおかげと感謝申し上げます。また、今年もたくさんの年賀状が届きました。どの年賀状も一生懸命に書いてくれたことが伝わってきました。どうもありがとうございました。お天気も安定し、穏やかな日々が多かった今年のお正月でしたが、ニュースから流れてくる新型コロナウイルス関連、特にオミクロン株については、日々心配な状況が各地で拡大し、埼玉県も感染者が増加しています。3学期の教育活動や行事等にどの程度影響が出てくるのか、今の段階でははっきりとしていませんが、これまで同様子供たちの安全・安心を第一に考えていきたいと思っておりますので、どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、2学期の終業式（今回も放送によるものです。）で、「新しい年の目標を決めましょう。」と伝えました。子供たちはどんな目標を考えてくれたのでしょうか？寅年にちなんで、「いろいろなことにトライするぞ！」という子もいるかもしれませんね。冬休み中に読んだ心理カウンセラーの菜花 俊（なばな さとし）先生の本の中に、ほめ上手になるコツが書いてありました。「ほめる（＝認める）」がうまく伝わるためには3つの条件が必要で、それが「3つの㊟」だそうです。

- 1 子供がほめてほしい㊟をほめる。
- 2 子供がほめてほしい㊟にほめる。
- 3 大人自身が㊟信を持っていることに関してほめる。

特に1の㊟と2の㊟に関しては、日頃から子供たちとたくさん話をしたり、子供たちの様子をしっかりと見てあげたりしていないとできないことだと思います。3の㊟は、大人もいろいろなことに興味を持ち、自分磨きをしていないとなかなか自信を持てません。私自身の子育ての中では、あまりうまくいっていなかったなと反省していますが、この3つの㊟をしっかりと意識しながら、今年も第五小の子供たち一人一人が、自分らしく成長していけるように支援してまいります。ご家庭でも、3つの㊟でお子様の良さを言葉でたくさん伝えてあげてほしいと思います。

最後に年末にあった1本の嬉しい電話のことをお伝えします。いつも地域の通学路で子供たちの見守りをしてくださっている方から、「第五小の子は、『いつもありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。』と挨拶ができていましたよ。」とおほめの言葉をいただきました。地域の中でも、自分の気持ちを恥ずかしがらずに伝えることができている子供たちがいて大変嬉しく思いました。社会のルールをしっかりと守ること、周りの方々に感謝の気持ちを伝えることも大切にしていきます。